

≡ 北斗だより

令和7年度 第10号
(1月8日発行)
愛媛県立今治北高等学校

常歩無限

教頭 野本 理江

あけましておめでとうございます

この言葉を耳にすると、真新しい日々の始まりを感じ、ワクワクとした気持ちになります。

新年の挨拶には、豊作と幸福をもたらす年神様への感謝と祈り、そして無事に年を越せた喜びを分かち合うなどの深い意味が込められています。新年の挨拶は、単なる言葉以上に、新しい年を迎える「節目」を感じさせる力を持っています。

新しいスタートライン

年末年始は、大掃除や除夜の鐘、そして年神様を迎える準備といった一連の行事を通して、一年を締めくくり、新しい気持ちで新年を迎える心構えを整える期間です。そして、大晦日からお正月へと日付が変わるその一瞬は、私たちはまるで新しいスタートラインに立ったかのように感じます。

心理学では、このような現象を「フレッシュスタート効果」と呼びます。新年や月初め、誕生日などは「時間的ランドマーク」とされ、過去の自分と未来の自分を心理的に切り離す特別な節目となります。特に、新しい年の始まりは、人生の新しいページを開くように感じられ、「今年こそは頑張ろう」という前向きな意欲を生み出します。

ウマくいくためには、コツコツと続けることがコツ

いよいよ学校は3学期を迎えます。この時期は、3年生にとっては進路決定と卒業への総仕上げ、1・2年生にとっては次の学年への大切な準備期間です。

年末年始に立てた決意を、具体的な行動へとつなげる時です。

生徒の皆さんが日々の学習を記録している「常歩無限」。表紙の裏に言葉の意味と意義が書かれています。「常歩とは、乗馬の並足のこと。どんな名馬でも全力で走り続けることはできないが、並足なら無限に進むことができる。」「恵まれた瀬戸内の風土に育まれ、伸びやかに高校生活を送っている今治北高等学校の生徒たちは、様々な可能性を秘めている。」「焦らず、たゆまず、一步一步着実に前進していくことこそ、大成の近道である。」とあります。

今年は、午年。新しい気持ちを大切にしながら、目標達成に向けて一日一日、常歩で、焦らず、着実に自分のペースで歩み続けることを期待しています。



今治北高校の日々の様子をホームページに掲載しています。「今北日記」「生徒の活動」「部活動」など、ぜひ御覧ください。

今治北高等学校 学校公式サイト <https://imabarikita-h.esnet.ed.jp>

----- 切 り 取 り -----

____年 ____組 名前_____